

ご協賛いただいた方のご紹介

いがの里は、皆様方のご支援に支えられながら施設運営を行っております。
以下の方々よりご協賛を賜りました。厚くお礼申し上げます。

——敬称略・順不同——

- 伊賀北ライオンズクラブ
- 伊賀市母子寡婦福祉会いがまち支部
- ヘアサロンタカシマ
- 竹原 啓祥
- 中森 伸行



職員募集

いがの里では、介護の必要な方が安心して望む暮らしができる場を提供することをミッションとし、実現の為に日々研鑽しています。ただ、現在介護現場では、人材不足は大きな課題です。いがの里では多様な働き方の職員が入居者様の暮らしを支えています。わたしたちのミッション・ビジョンに共感し、勤務できる時間を活用して介護や看護のお手伝い、事務的な業務等、協働して頂ける方を募集しています。わたしたちと共に、福祉の無限の可能性をひろげましょう!

募集職種 介護職員・看護職員・看護助手・介護助手等
勤務時間等相談に応じます。

お問合せ いがの里 **0595-45-8875**
受付 / 月～金 8:30～17:30 (担当 阿部・木平)

お知らせ

◆いがの里の入居やショートのご利用について、また介護等に関する事で
ご相談があればお気軽ご連絡ください。是非、ホームページもご覧ください。

お問合せ 0595-45-8875 (担当 坂井) **ホームページQRコード** ⇒



◆新型コロナ感染予防において換気が重要なのは皆様もご存じの通りですが、換気設備を使用する場合は、1人あたり30㎡の換気量を確保する必要があります。このことからこの度、環境省の「大規模感染リスクを軽減するための高機能換気設備等導入支援事業」を活用し、各ユニットに高機能換気設備の設置と空調設備の改修を行い、リスク軽減に努めています。

編集後記

梅があちらこちらで開花し、春の訪れを感じる今日この頃。皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年の冬は10年に一度の寒波が到来し、伊賀も雪景色となりました。冬が過ぎ、春が訪れようとしています。本文でも紹介しましたが、いがの里では四季折々のイベントを職員が計画し、入居者、ご利用者の皆さまに楽しんで頂いています。日本特有の四季を五感で感じながら、一日一日を大切に皆さまと過ごしていきたいと思っております。(川端)

なのはな

— 第2号 —

令和5年3月1日発行
社会福祉法人青山福祉会
特別養護老人ホームいがの里
伊賀市愛田550番地

ごあいさつ

施設長 阿部 和弘

新たな年を迎えもう2か月となり、今年初めての広報誌の発行となります。遅ればせながら地域の皆様には、旧年中は大変お世話になりました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

まず初めに、昨年12月より新型コロナウイルス第8波を迎え、三重県や伊賀管内においては過去最高の感染者数となっています。昨年10月より新型コロナの水際対策が大幅に緩和され、人の移動も多くなったことから福祉施設でのクラスターの発生が増えました。全国では12月下旬の1週間で過去最多の954件発生しています。いがの里においては、11月に入居者2名、ショート利用者1名、職員5名が感染しました。ご家族や関係する皆様には大変ご心配をおかけしました。今では誰が感染してもおかしくない状況であり、5月8日には第5類に移行されるようです。そのため、今後感染者がもっと増えるのではないかと不安な状況ではありますが今後の動向に注視していきたいと思っております。

さて、私たち「いがの里」では、入居者の皆様が望まれる暮らしを送れるように、また、安心・安全で穏やかな暮らしが送れるように支援し、いがの里に入居して良かったと思っただけのように日々努めています。まだまだ、課題もありますが常にその思いを持って、職員と共にごがんばっています。以前、瀬戸内寂聴さんの「魅入(みい)られたと思う瞬間の身の引き締まる感動こそ、生きている証のように思われます。その感動の数が多いほど、人は幸福な一生を送ったと言えるのではないか」という言葉を目にして、感銘を受けました。その方の思いに寄り添い喜んでもらったり感動していただけるように支援できればと思っています。

今回の「なのはな」第2号では、入居者様の生活のご様子やいがの里での支援の取り組み、介護の魅力などをお伝えし、いがの里をより多くの方に身近に感じていただきたいと思っております。是非、またご意見をお聞かせください。最後に皆さまのご健勝とご多幸をお祈りして簡単ではありますがごあいさつとさせていただきます。

特殊浴槽が新しくなりました

いがの里が開設して以来使用していた特殊浴槽(寝たままのお風呂)が老朽化してきたことから、公益財団法人JKA様の福祉機器補助事業を受けて、特殊浴槽一式を導入しました。

新たな特殊浴槽となり、入居者の皆様には、安全で心地よく入浴して頂いております。また、職員も安全に入浴を支援することができ、身体的、精神的な負担の軽減となっており、大変感謝しております。



ありがとうございます